

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例 I

<p>第1問</p>	<p>特性は、①市場が細分化されており市場規模が小さいため高いシェアの獲得が可能、②専用機を使用するため参入がしにくく自社ブランドの構築が可能、③人気によるブームがあり売上の増減が激しい、と考えられる。</p>
<p>第2問</p>	<p>理由は、①技術難度が異なると共に事業に対する考え方が異なりメーカー主導のため自社ブランドでの展開ができず差別化が困難であり、②多額の借入金を返済するためにグループとして売上を確保する必要性が高かったからである。</p>
<p>第3問</p>	<p>可能性は、①プラスチック業界におけるメーカーの動向・競合他社・海外製品・新技術等によってグループの売上が大きな影響を受け②売上が減少した時にグループの半数弱を占める人員の再配置を考慮しなければならない。</p>
<p>第4問</p>	<p>理由は、①グループ内で様々な事業展開を行っており統一された基準に基づく評価制度の導入が困難であり、②社内事業を関連会社として独立させており給与体系の変更は従業員のモラルが低下する可能性があるから。</p>
<p>第5問</p>	<p>サービス業への変革を行うよう留意する。具体的には、①顧客満足の向上を図るため顧客対応マニュアル等を作成し組織文化の変革を行い、②自治体や大学と連携やソフト開発のできる人材の確保を行い人材育成を進める。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅱ

<p>第1問(設問1)</p>	<p>ターゲットにすべき顧客層は、①高価格で販売される高層マンションに居住しており、②年齢は 30 才から 40 才位で、③10 才以下の子供がおり、④こだわりの商品やサービスに興味を持つ、若手富裕層である。</p>
<p>第1問(設問2)</p>	<p>大人が落ち着いて食事ができるよう子供を預けられる託児業・保育業等のサービス業を誘致すべきである。</p>
<p>第1問(設問3)</p>	<p>託児所等と連携し双方の店舗にパンフレット等を置き紹介しあい、新規顧客の獲得とリピート率の向上を図る。</p>
<p>第2問</p>	<p>(a) 食器店 (b) 県内のこだわりの農水産物や加工品を盛りつけるこだわりの食器の販売を勧める。具体的には①物産市で食器を置いてもらい関連購売を促し②物産市にパンフレットを置いてもらい店舗への誘導を行い、売上向上を実現する。</p>
<p>第3問(設問1)</p>	<p>県内の農水産物や加工品を中心にこだわりの商品を揃えた値段は高くても高付加価値な食品小売店を誘致する。マーケティング戦略は低価格を売りにする大手総合スーパーチェーンに対し非価格対応戦略をとる。</p>
<p>第3問(設問2)</p>	<p>空き店舗を活用し食品小売店で販売している食材を使用した料理教室を新規イベントとして実施する。期待される効果は商店街の店主や店員に講師になってもらい、顧客と親しく会話を交わすように関係を深めてもらう事。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅲ

<p>第1問(設問1)</p>	<p>①鑄造工程の生産能力増強と共に機械加工・塗装工程を保有し一貫生産体制を確立している。 ②鑄造技術に精通したエンジニア出身の社員を営業部に配置しており技術提案が可能である。</p>
<p>第1問(設問2)</p>	<p>メリットは、①自動車市場は市場の拡大が見込め売上増加を図れ、②精密な自動車部品に対応するため鑄造技術の向上を図れ、③短納期に対応するため生産工程の見直し・改善が図れることである。</p>
<p>第1問(設問3)</p>	<p>改善策は、①鑄造工程以外でも生産計画を策定し納期管理を行い、②加工手順や段取り作業のマニュアル化・標準化を行い稼働率の向上を行い、③営業部の保有する顧客情報を共有化し受注から生産までの時間を短縮する。</p>
<p>第2問</p>	<p>問題点は鑄造工程後の仕掛品が恒常的に過剰であり機械加工工程の作業動線を延長させ、納期遅延の原因になっている事である。改善策は①顧客情報の予想精度の向上②機械加工工程の生産計画策定と段取りの計画化である。</p>
<p>第3問</p>	<p>営業部・設計部・製造部が保有する情報を共有化し全社一丸となって遅延解消を目的に納期管理を行っていくべきである。活用していく情報は①営業部の顧客との打ち合わせ・要望情報②設計部の図面等仕様書情報③製造部の仕掛品の品種・数量・作業の進捗情報。</p>
<p>第4問</p>	<p>強化すべき点は生産リードタイムの短縮を図り、鑄造技術を向上させ、小ロット短納期で高付加価値製品を一貫生産できる体制の構築である。理由は軽量化・複雑形状要求が強くなり鑄造技術の向上が求められているものの農業機械部品と産業機械部品の受注量は増加傾向にあり海外製品との差別化が可能だから。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅳ

第1問(設問1)①	(a) 有形固定資産回転率 (b) 5.00 回転
第1問(設問1)②	(a) 流動比率 (b) 115.38%
第1問(設問1)③	(a) 自己資本比率 (b) 22.12%
第1問(設問2)	過剰な機械設備等が少なく資産効率は高いが需要変動や生産数量の変動を短期借入金等で賄っており長期安全性・短期安全性が低い。
第2問(設問1)	<p>売上高：1935</p> <p>売上原価：1695</p> <p>売上総利益：240</p> <p>販売費及び一般管理費：300</p> <p>営業損益：△60</p> <p>経常損益：△23</p> <p>税引前当期純損益：△23</p> <p>法人税等：0</p> <p>当期純損益：△23</p>
第2問(設問2) (a)	売上が 10% 減少し費用構造が変わらない場合営業・経常・当期純利益全てが赤字になる。
第2問(設問2) (b)	原因は損益分岐点売上高が 2042 百万円となりそれ以下の売上高では営業赤字となり営業外費用が営業外収益より多く経常赤字となる。
第2問(設問3) (1)	<p>(a) 金額 2241 百万円</p> <p>(b) 計算式 <math>\{(100+24-13) + 1020+120\} \div 0.5582</math></p>
第2問(設問3) (2)	<p>(a) 金額 百万円</p> <p>(b) 計算式</p>
第3問(設問1) ケース1	X3 : 27.5 X4 : 31 X5 : 31
第3問(設問1) ケース2	X3 : 20.5 X4 : 24 X5 : 24

第3問(設問2)	(a) 正味現在価値 Z : 53.91 百万円 E : 90.63 百万円 (b) プロジェクト E
第3問(設問3)	
第4問(設問1)	大口取引先の経営方針の変更に売上全体が大きな影響を受ける。
第4問(設問2)	異なる需要動向を示すため売上の変動リスク軽減・分散化を図れる。